

資本家は所謂非常時に名を藉り、之を並用し、今更東京市電の発生案の如く、其の不況却掛けに労働階級の犠牲にのみ依拠せんとする攻勢的態度を示してある。

言ひまでもなく眞の産業協力産業平和は、労働者の公正なる分配と協働の精神に立脚せざるべからず、然るに今日の資本家階級の態度を見るの時、彼等自から産業協力を産業平和の精神と蹂躪しつゝ、苟くも遺憾とするものである。

我等は茲に第三回大会と開催するに当り、現下の我等の主張も率直に宣明する。

政府は速かに産業協力の根柢をなす労働者の團結を確説すべし今日の資本の不当なる搾取其の分配の不正は、一に労働階級の正当なる團結と組織の自由なきに基因す而して眞に国家産業の健全なる發達は労働者の健全なる組織の協力を俟つべしと勿論である。

次に我等は八時間労働制と最低賃銀制を要求する。一は時間短縮による就業者の増加により失業問題の解決に資し、一は賃銀値上による労働大衆の購買力の増進を

四、引いて産業の発展を促進せんとするものである。

顧みるに昨年未の我が國労働者數、五、一六三、七一九人中組織労働者は僅かに三八四、六一三人であつて、七、五%の組織率を示すに過ぎない。而も我等の信奉する健全なる組合主義に反対せる左右兩翼の労働組合は、今日に於て既に其の影を没して勢力の見方べきものなく、唯東亞日本主義の假面にかくるる御用組合又は會社組合が資本家の傀儡として其の利益を擁護し、自主的労働組合の經營を攪乱するものあるのみであつて、我々組合會議二十八萬の組織労働者のみだ五百余萬の全労働階級の利害を代表して健斗してゐる。

而して農村崩壊の深酷化と突如關東地方を襲來せる大暴風雨水害の影響は、更に我等労働階級の生活をも脅かすものであつて、労働運動の前途又多難なりと信ず。然しながら我等は此の苦難なる時期に際し、其の經營の内容を究突整備し、戦線の統一も計りと共に衆組織大衆の組織に努力し、自主的團結の威かによつて其の生活を擁護し、進んで緊急存亡労働立法の獲得に邁進せんことを茲に誓明し、廣く労働大衆の協力を切望するものである。